

①自己紹介

■氏 名： 四方 諒

■着任日： 令和5年3月1日

■所 属： 市内全域

■着任前までの経験と移住経緯

- ・大工としてマンション、戸建て店舗等の工事を施工
- ・空き家再生を通してまちづくりをしたいと思い、三原市に移住



①自己紹介2(着任前の活動をより詳しく)

- 大学卒業後、大工に弟子入り。
その後、基礎屋、不動産屋などさまざまな職を経験したのち、独立。
- マンション、一戸建て、店舗などの解体から仕上げまで、ほぼ全て一人で行う。
- さいたま市にて、まちづくりの実践授業、リノベーションスクールを受講。
プレイヤーとしてまちづくりに参加する。



②これまでの活動(着任から現在まで)

- 本郷町上北方にて、空き家のワークショップ「イエカツ」を開講。
- 中央図書館において空き家相談会実施
- 他の地域おこし協力隊員活動場所の大工工事
(八幡町の真野隊員、佐木島の中園隊員
大和町のシャジム隊員)
- 名刺1000枚プロジェクト**
現在、約500枚突破。
- 500名の方と出会っていく中で本町の物件に出
会い、新たな目標を設定。
「地元の人に愛される、たこ焼き屋の開業」



②これまでの活動(着任から現在まで)2

- たこ焼き屋の開業準備と並行しつつ、
本町にて移住検討されている方や、
地域おこし協力隊を検討されている方のための
ゲストハウスを開業。
- 広島修道大学や九州デザイナー学院にて、
まちづくりや空き家活用について講義。
→広島修道大学の学生と三原での新たな
挑戦の準備中。
→九州デザイナー学院の学生に、
私が実際始めるたこ焼き屋のロゴを作成し
てもらう。
- 移住検討者の現地対応
→空き家について興味のある移住検討者に対
し、本町の物件にて空き家の活用法などの
相談対応。



②これまでの活動(着任から現在まで)3

●他の協力隊の空き家を再生したり、自身で空き家を再生してきた経験から、空き家再生のノウハウを提供するため、三原さんと共同で「空き家再生実践塾」を開講。

全6回実施し、平均7名～8名の参加があり、
延べ人数30名前後の参加があり、
中国新聞にも一面で掲載される。

●同じ協力隊の坂江さんが神明市に合わせ、同場所でマルシェを開催。



空き家再生実践塾
大工 & 建築士と一緒に、空き家を楽しく再生しよう！

スケジュール

回	日程	内容
1	10/20 (日)	講義 (空き家再生の基礎知識) 実地研修
2	10/26 (土)	講義 (内装・外装・工場の関係) トイレ設置
3	11/3 (日)	講義 (フローリング敷き、床仕上げの基礎) 天井解体
4	11/4 (月祝)	フローリング実技 フローリング実技
5	11/24 (日)	講義 (キッチン・洗面・トイレの基礎) キッチン・洗面・トイレ下地
6	12/1 (日)	講義 (浴室・トイレの基礎) 浴室・トイレ下地

場所 三原市本町3丁目14-19
(三原市役所向かい側) ※駐車場はありません

時間 9時～16時 (昼休憩を挟む)

参加費 1,000円/1回 (昼食代込み)
汚れても問題のない動きやすい服装でお越しください。

講師 三原一樹
一級建築士
建築士事務所「三原一樹建築設計事務所」代表
生活文化局・まちづくり課・まちづくり推進課
建築士会・建築士会青年部・建築士会青年部会
建築士会・建築士会青年部・建築士会青年部会

四方田 大正/建築士
建築士会・建築士会青年部・建築士会青年部
建築士会・建築士会青年部・建築士会青年部

この実践塾は三原市地域おこし協力隊の協賛で開催しています。/連絡先:090-8216-6613(担当:三原)



②これまでの活動(着任から現在まで)4

- シェアキッチン「OKATTE」オープン
オープンに際し、本町のお祭り「半どん夜市」にて
マルシェイベント実施。
協力隊OBOGや現役の隊員にも声をかけ、箱とし
て60万円の売り上げを作った。
- 7月よりカレー屋さんが間借り出店を開始。
地元の人にも愛される場所を創出。



②これまでの活動(着任から現在まで)5

●次の空き家再生がスタート。
協力隊の残り半年となり、最後の物件として、
西国街道沿いの空き家再生に着手。
三原さんや山下さんと共同で新たな賑わい創出
に挑戦する。



●広島県地域おこし協力隊ネットワーク【HiLoBA】設立
有志が集まったメンバーで協力隊の横串を刺そうと
いう目的のもと、ネットワークを設立。
オンラインイベントや、対面でのイベントなど企画して
いる。



③三原市地域おこし協力隊として挑戦したいこと

■挑戦したいこと(任期中)

空き家を使った新規事業の創出

- ①たこ焼き屋の開業 済
- ②ゲストハウスの開業 済
- ③キッチンシェア事業の開業 済
- ④マンスリーホテルの開業 未
- ⑤レンタルスペースの開業 未



③三原市地域おこし協力隊として挑戦したいこと2

■挑戦したいこと(任期中)

自分自身を三原のコンテンツ化する

①挑戦し続ける姿を発信する

②「あの人がいるから挑戦しやすそう」を作る

③移住したら楽しいを体現する



③三原市地域おこし協力隊として挑戦したいこと

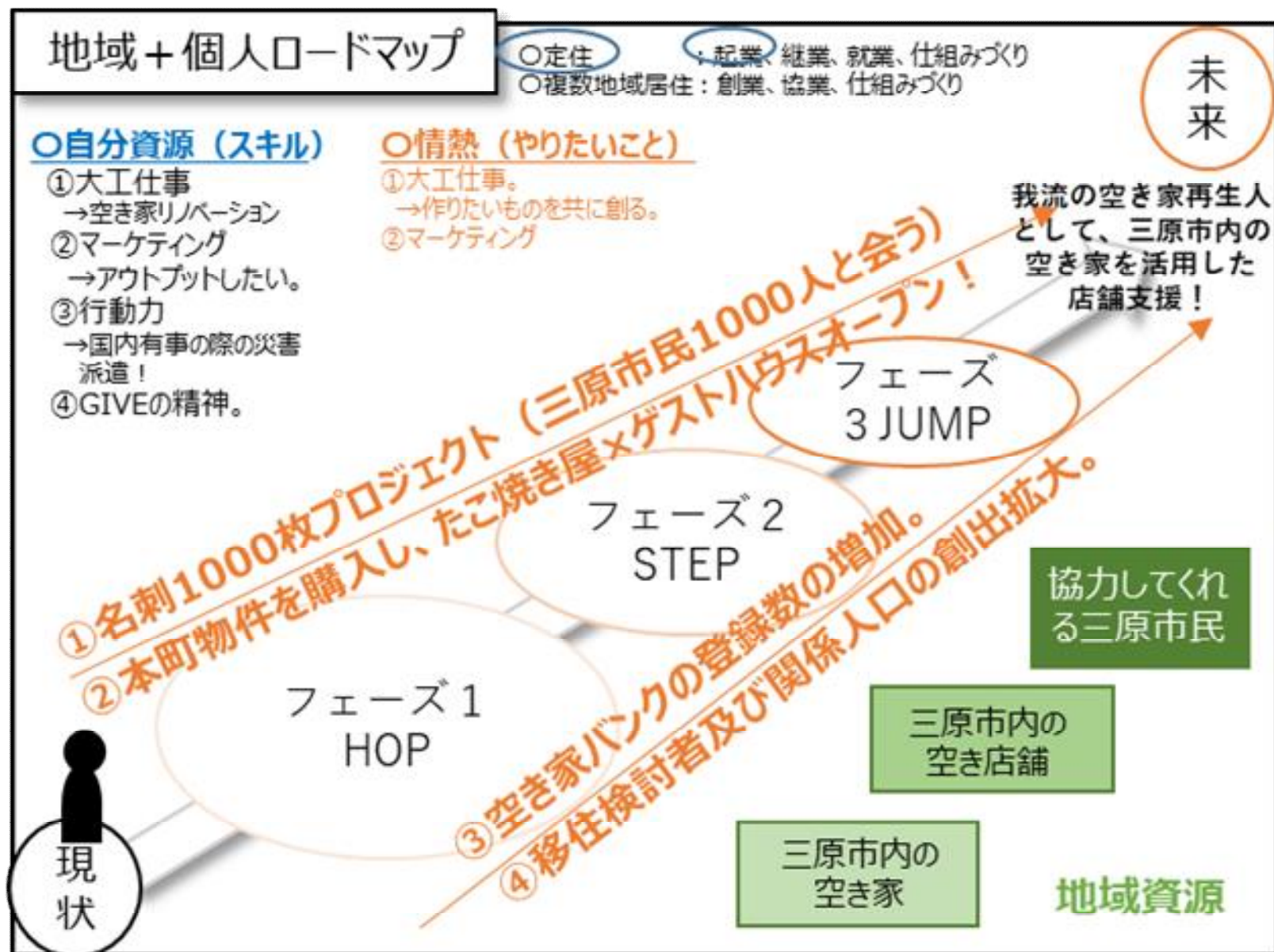
■挑戦したいこと(任期後のキャリアイメージ)

三原で事業を始めたい人のサポート事業

- ①開業時のDIYサポート等、内装工事の手伝い
- ②開業後のマーケティングサポート
- ③ローカルチャレンジャーの起業伴走



④任期後の自立に向けての活動内容(ロードマップ)



⑤ 2025年9月に向けてのチャレンジ宣言

「 三原さんと再生中の空き家及び
次の空き家を再生させて事業を創る 」

⑥2025年3月～活動報告(成果と課題1)

2025年9月に向けてチャレンジ宣言

「 三原さんと再生中の空き家及び
次の空き家を再生させて事業を創る 」

→【半年間の活動振り返り : 70 %】

この半年間のアクションを振り返ります。

1)アクションプラン:三原さんとの物件を完成させる

→個別振り返り: 完成!シェアキッチンとして始動!

2)アクションプラン:三原さんとの物件を稼働させ、コミュニティを創る

→個別振り返り: 空き家再生のコミュニティが完成。少しずつ人数も増えている。

3)アクションプラン:次の空き家を完成させる

→個別振り返り: 7月より本格的に始動。下水工事が終了し、これから少しずつコミュニティメンバーで作っていく。

4)アクションプラン:ローカルチャレンジャーの創業支援

→個別振り返り: 協力隊ネットワークが設立され、少しずつ横のつながりもでき始める。

⑥2025年3月～活動報告(成果と課題2)

■空き家をシェアキッチンへと再生
時間がかかったが、まちの台所を作ることができた。



⑥2025年3月～活動報告(成果と課題3)

■空き家の無料相談実施

ずっとやりたかった空き家の掘り起こしに着手。
全く成果が上がらず挫折。



⑥2025年3月～活動報告(成果と課題4)

■次の空き家再生に着手
下水道工事が終了し、トイレを設置。
これから三原さん、山下さんと共同で再生していく。



⑦次回(2026年2月)卒業に向けて

協力隊卒業（2026年2月）に向けてチャレンジ宣言

「 最後の空き家再生を完結させ、
協力隊としての最後を締め括る 」

⑧次回(2026年2月)卒業に向けて

協力隊卒業（2026年2月）に向けてチャレンジ宣言

「 最後の空き家再生を完結させ、
協力隊としての最後を締め括る 」

その為に、この半年間で以下のアクションを実施します。

- 1)アクションプラン： 空き家再生コミュニティで最後の物件着手
- 2)アクションプラン： 完成させて、マンスリーマンションとレンタルスペースの開業
- 3) アクションプラン： 卒業後に向けた動き